

いちばんぼし☆

第1学年

学年日より

NO.22

H29.1.23

命を守る・命を繋ぐ 防災訓練



平成7年（1995年）1月17日5時46分。私たちの住む兵庫県南部で、大きな直下型地震が起こりました。6434名の尊い命を奪い、大勢の人は住む家を失い、想像を絶する被害を生みました。阪神淡路大震災です。震災から22年。キミたちの生まれる前の出来事ですが、兵庫県に住む私たちにとっては、決して忘れてはならない出来事です。

政府の地震調査委員会は、今後50年以内に南海トラフを震源とするM8～9クラスの地震が発生する確率は「90%程度かそれ以上」、10年以内に発生する確率は「20～30%」だと発表しています。つまりキミたちは常に、将来起こるであろう大震災に向け、準備と心づもりをしておかねばならないということになります。震災は過去の話ではなく、今と未来の話なのです。

13日の防災訓練では、紀伊半島沖を震源にM8・4の地震が発生し、追って津波警報が発令されたという想定で行われました。先ほどの南海トラフ地震を想定しています。大きな揺れを感じたとき、まずは身を守ることが大切です。「姿勢を低く、頭も守り、動かない。」揺れが収まったら、倒壊の恐れのない安全な場所へ避難する。津波から逃れるためには、高台や高い建物に避難をする。

訓練中のキミたちは、寒い中でしたが私語もなく落ち着いて取り組むことができました。しかし、あくまでも訓練の中での話です。自然災害は、場所や時間を選んでくれません。学校にいるときに起こるかもしれませんし、家にいるときに起こるかもしれません。どんな状況であっても、繰り返し訓練してきたことを思い出し、防災意識を高めて冷静に危機を回避する術（すべ）を身につけてほしいと思います。命を守り、命を繋ぐ。1.17を忘れない。



百人一首大会

19日に百人一首大会が行われました。百人一首に慣れてない人が多く、最初はなかなか波に乗れない人もいましたが、目の前にある札の数が減っていくにつれて次第に大きな歓声に包まれるようになりました。盛り上がった百人一首ですが、伝統的な言語活動とであるという視点から、一首一首を読み味わってほしいなあとも思いました。来年もその辺を視野に入れて百人一首大会を開催できるといいですね。

団体（クラス）戦

1位	3組	(平均22.3枚)
2位	4組	(平均21.1枚)



個人戦 10傑

1位	濱名美咲さん	43枚	6位	八木愛帆さん	34枚
	三室瑛さん	43枚		市岡大翔くん	34枚
3位	秋吉紫乃さん	38枚		渡邊明花さん	34枚
	山田涼菜さん	38枚	9位	末崎桃香さん	33枚
5位	酒井渉志くん	36枚		富永大翔くん	33枚

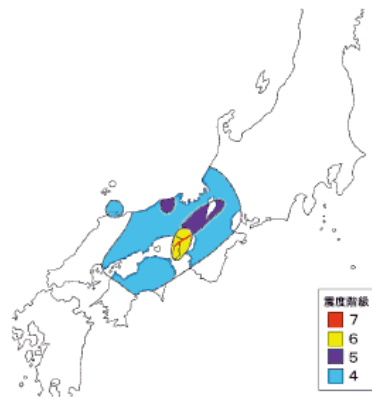
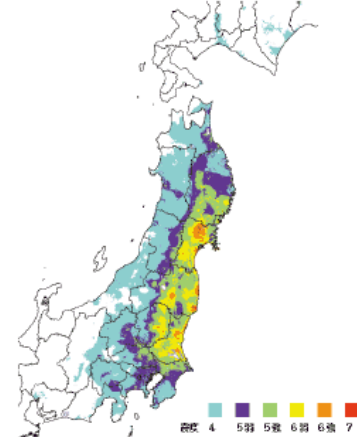


震災は

過去の話ではなく

ボクらの

今と未来の話だ

表1-1-13 阪神・淡路大震災と東日本大震災の比較		
	阪神・淡路大震災	東日本大震災
発生日時	平成7年1月17日5:46	平成23年3月11日14:46
マグニチュード	7.3	9.0
地震型	直下型	海溝型
被災地	都市部中心	農林水産地域中心
震度6弱以上県数	1県(兵庫)	8県(宮城, 福島, 茨城, 栃木, 岩手, 群馬, 埼玉, 千葉)
津波	数十cmの津波の報告あり, 被害なし	各地で大津波を観測(最大波 相馬9.3m以上, 宮古8.5m以上, 大船渡8.0m以上)
被害の特徴	建築物の倒壊。長田区を中心に大規模火災が発生。	大津波により, 沿岸部で甚大な被害が発生, 多数の地区が壊滅。
死者 行方不明者	死者6,434名 行方不明者3名 (平成18年5月19日)	死者15,270名 行方不明者8,499名 (平成23年5月30日現在)
住家被害 (全壊)	104,906	102,923 (平成23年5月26日現在)
災害救助法の適用	25市町(2府県)	241市区町村(10都県) (※)長野県北部を震源とする地震で適用された4市町村(2県)を含む
震度分布図 (震度4以上を表示)		

(内閣府資料)

